

日本ミシェル・アンリ哲学会

第十四回研究大会 プログラム

今年、2022年は、ミシェル・アンリ生誕百年を記念する年であると同時に、作家マルセル・ブルーストの没後百年でもあります。一見、アンリとブルーストの間に関係はないようですが、「内部の世界だけが重要である」というブルーストの言葉は、アンリの思想を思わせるものでもあります。今回のシンポジウムでは、こうした観点から、ブルーストの専門家でありアンリの哲学にも詳しい会員の武藤剛史氏に、「印象」の概念や「芸術創造」を手掛かりにしつつ二人の関係についてお話いただき、哲学だけでなく文学にも造詣の深い、会員の落合芳氏に武藤氏の発表へのコメントをしていただきます。またシンポジウムに先立ち、メヌ・ド・ビランのカテゴリー論を巡るアンリの解釈を再検討する研究発表と、アンリ最後の小説、『不躰な死体』を巡るアトリエが行なわれます。

なお、第十四回研究大会は、学習院大学を会場とし、対面と遠隔のハイブリッド形式で開催します。会員には、事前に、メーリングリストを通して、会場案内、および、遠隔参加の場合のZoomアクセス先をご案内いたします。また、会員以外の方にも、お問い合わせいただければ、会場、および、Zoomアクセス先をご案内しますので、大会に参加希望の方は、下記の事務局までお問い合わせ下さい。

期日：2022年6月25日（土）

学習院大学 北2号館10階大会議室（ハイブリッド開催）

【研究発表】

10:30～11:20

長坂祥悟（北海道大学大学院）

「カテゴリーの実在性への問い——ミシェル・アンリとメヌ・ド・ビランの「カテゴリー」を巡って」

【アトリエ】

11:30～12:20

村松正隆（北海道大学）

「アンリ最後の小説『不躰な死体』を読む」

12:20～13:30 昼食

13:30～14:00 総会

【シンポジウム】

14:10～17:00

テーマ：「アンリとブルースト 見えざる交錯」

提題者

武藤剛史（共立女子大学名誉教授）

「印象の根源に立ち返る——ブルーストとアンリ」

コメンテーター

落合芳（龍谷大学）

司会

村松正隆（北海道大学）

日本ミシェル・アンリ哲学会事務局

〒662-8505 西宮市岡田山4-1 神戸女学院大学文学部 川瀬研究室内

Tel/Fax : 0798-51-8677 E-mail : sj.michel.henry@gmail.com

ホームページ : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~michelhenry/>